

神奈川県自閉症児・者親の会連合会

50周年記念事業 記念講演会

地域で暮らす自閉症スペクトラム(ASD)

～求められる地域生活支援とは～

講師：日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏

障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、必要な機能を備えた地域生活支援拠点の整備が急がれています。

外見からは困り感がわかりにくい自閉症スペクトラムの人たちが安心して地域生活を送るためには、どんな支援が必要なのか、ソフト、ハード両面から考える必要があります。

これらについて先駆的な取り組みを行っている福岡氏を講師にお迎えし、体験談と今後の地域生活支援拠点についてお話いただきます。



《日時》

2018年6月17日(日)

13:00~13:30 50周年記念式典

13:30~13:40休憩

13:40~16:00総会記念講演会

(12:30開場)

《場所》

厚木市保健福祉センター
6階ホール

〒243-0018 厚木市中町1-4-1

小田急線本厚木駅東口より徒歩5分

イオン厚木店、厚木バスセンター奥



《参加 無料》

《定員》300名 (申込順)

《申し込み方法》

(1) QRコードから専用フォームで申込み

(2) FAXで申込み (申込用紙 裏面)

*詳しくは裏面をご覧ください

《問合せ》

メール：atsugiyamabiko@gmail.com

または裏面のFAX番号まで

*要約筆記あり

*厚木市保健福祉センター駐車場は、障がいのある方のみ駐車できますが、台数が限られます。公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください

*保育はありません

主 催：神奈川県自閉症児・者親の会連合会 / 厚木市自閉症児・者親の会

後援(予定)：神奈川県、神奈川県教育委員会、神奈川県社会福祉協議会

厚木市、厚木市教育委員会、厚木市社会福祉協議会

地域で暮らす自閉症スペクトラム (ASD)
～求められる地域生活支援とは～

6/17 記念講演会申込用紙 (FAX 用)

お名前 _____

↓ 当てはまる項目に○をしてください

ふりがな _____

* 神奈川県自閉症自社親の会連合会の
(会員 ・ 会員でない)

* あなたのお立場

(ご本人 ・ ご家族 ・ 福祉関係 ・ 教育関係 ・ その他)

電話番号 _____

申し込みが定員を超えた場合にご連絡させていただきます

* 配慮が必要な方は、お書きください。折り返しご相談させていただきます

記入後、このまま FAX してください (表紙不要) → 送信先 046 (222) 4113

《専用申込みフォームで申込み》

QR コード読み取り



↑お手持ちの携帯電話、スマートフォンの QR コードリーダーを起動し、こちらにかざしてください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScHhQ5WdOr0CJlbDUsr4Mu_mna7LV35su5MXVvca70Tipxlw/viewform
(QR コード アドレス)

ふくおか ひさし

講師：福岡 寿 氏 プロフィール

東京大学文学部を卒業後、「金八先生」にあこがれて中学の教師となるも、4年で行き詰る。

その後、知的障害者施設「長峯学園」の指導員となり、日勤・早番・夜勤の交代勤務の5年間を経て、1992年現在の相談支援事業の奔りとなる、地域療育等支援事業のコーディネーターとなり、施設から出で、地域を回って歩く仕事の日々となる。

1998年に「北信圏域障害者生活支援センター」を立ち上げる。

2003年より5年間、当時の田中康夫県政の下で、社会部障害者自立支援課の専門員を兼務し、長野県における「コニー西駒郷」の地域生活移行の取組みにかかわる。

その他、日本相談支援専門員協会顧問、長野県自立支援協議会会長。

主な著書に「施設と地域のあいだで考えた」「コーディネーターが開く地域福祉」(ぶどう社)「地域生活のすすめ」(Sプランニング)「こうすればできる、発達障害の子がいる保育園での集団づくり・クラスづくり」「すぐに役立つ、発達障害の子がいる保育園での集団づくり・クラスづくり Q&A」(エンパワメント研究所)